

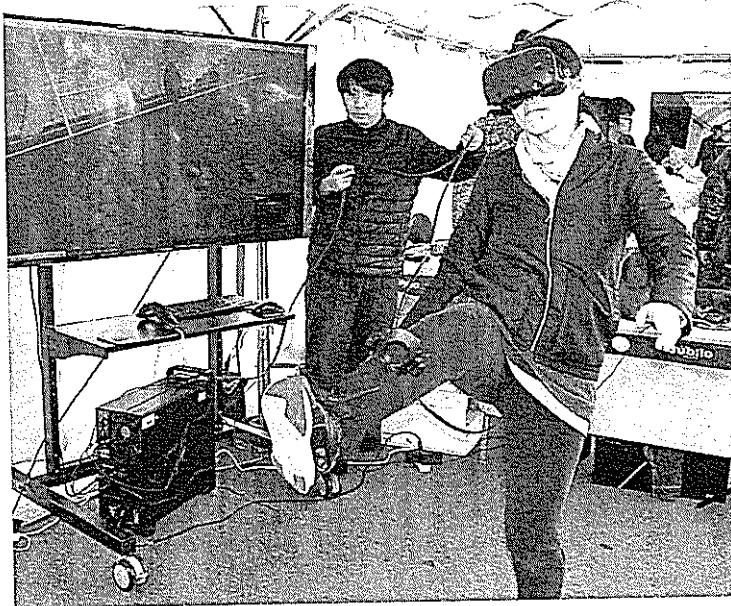
ラグビーW杯
2019日本大会

GKをVR体験

磐田

静岡理工科大生が開発

袋井市の静岡理工科大情報学部が、VR（仮想現実）技術でラグビーのゴールキックを体験できるシステムを開発した。ラグビートップリーグのヤマハ発動機ジュビロの試合が行われた1日、磐田市のヤマハスタジアムに特別ブースを出展し、2019年ラグビーワールドカップ（W杯）の機運醸成を図った。



「蹴りっぱなし」と顔を見せた。同スタジアムには今年初めに同大の学生が開発したAR（拡張現実）技術活用装置「ラガーマー」も出展。専用カメラの前に立った人物の表情を読み取り、テレビ画面にヤマ

藤枝市立青島北小6年出口夏帆さん(12)は「本当に蹴っているみたいだった。五郎丸選手になった気分」と笑

ハ発動機ジュビロのユニホームと合成した姿などを表示するシステムで、多くの来場者を楽しませた。

開発に携わった同大4年のルーテンバーク慎仁さん(22)は「ラグビーを見る機会に比べ、体験する機会は少ない。競技に興味を持つ人が増えてくれれば」と期待した。(磐田支局・池谷暎子)